

令和3年度 菊池市第三セクター経営検討委員会 第3回会議 議事概要

- 1 日 時：令和3年11月4日（木）15：30～17：00
- 2 場 所：菊池市役所3階306委員会室
- 3 出席者：望月信幸委員長、服部学副委員長、有働雄一委員、
清水経済部長、本田経済部次長、出口商工観光課長、
緒方観光振興係長、城農政係長

4 会議、議事の概要

(1) 開 会

(2) 議 事

(I) 答申（案）について

事務局から、資料に基づき説明を行った。

有働委員から、「第三セクターとして、市民の利用者を増加させていくことが重要であるとともに、営業活動及び広告の在り方についても改善が必要である。また、SDGsの理念に基づき、食品ロスの低減が必要である」旨の発言があった。

望月委員長から、「飲食はお客様にとって最も利用しやすい部門であり、利用しやすい商品を提供する等、ターゲット層のニーズに合わせた商品の提供が必要である」旨の発言があった。

有働委員から、「若手職員の意見等を反映したプロジェクトチームを作るなど、具体的な組織づくりが必要である。そのことが、職員の人材育成及びやりがいにも繋がり、今後の経営にも繋がっていく」旨の発言があった。

服部副委員長から、「対象法人が作成した経営計画が机上の空論とならぬよう、株主及び行政の立場として定期的なモニタリングや協議が必要である」旨の発言があった。

服部副委員長から、「事業内容として、地域住民の健康福祉の充実は達成できているが、地域魅力の再発見、若者の定住促進等による地域の活性化を図ることについては不十分であり、そこに重点を置く計画を推進すべきである」旨の発言があった。

望月委員長から、「行政及び民間で出来ないことが出来る第三セクターのメリットを活かし、経営に反映させる必要がある。また、施設運営に際しては、今後のコロナウイルス感染症や災害等のリスクマネジメントができる経営体制を整える必要がある。5年間の指定管理期間ではあるが、積極的に成長できる事業展開が必要であり、市は指定管理者の取組に対し、柔軟に対応していくことが経営改善に繋がる」旨の発言があった。

(Ⅱ) その他

事務局から、次回の議事予定について説明を行った。

望月委員長から、「菊池市第三セクター経営検討委員会議事運営規定に基づき、次回会議を公開とするか非公開とするかその取扱いを確認したい」旨の発言があった。

次回会議の取扱いについて、非公開とする旨全会一致で決定された。

(3) 閉 会